学校番号	403

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版「社会と情報」　（第一学習社）						
副教材等	基礎からはじめる情報リテラシー　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単なる知識ではなく、必要な時に知識が活用できるように、問題解決と総合実習を合わせた学習をしていく。コミュニケーションを中心に、幅広く社会で活躍できる人材に成長して行って欲しい。

2　学習の到達目標

(1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
(2) 情報の収集・発信における問題点を理解し，それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。
(3) 情報を主体的に活用し，情報社会に主体的に参加する態度を身につける。
(4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・発表態度 ・発問評価ト ・学習ノート	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート ・定期考査	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報の活用と	①「情報」および情報を伝達する「メディア」という言葉の意味を理解し，情報には発信者の意図が含まれていることを理解する。	○	○		○	a:「情報」というものの本質と情報モラルの存在について関心をもつ。受信者としてあるいは発信者として，どのような被害があり得るのかについて，関心をもつ。	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート ・定期考査

	表現 情報とその活用	②「情報」によって，被害を受けることもあれば，誰かに被害を与えることもあり得ることを理解する。 ③アナログとディジタルの違い，コンピュータ内部では，さまざまな情報がディジタル化されて扱われていることを理解する。	○ ○	○	 ○	○ ○	b：流通する情報に，どのような発信者の意図が含まれているかを考えることができる。どのようにすれば，情報によって誰かに被害を与えることがないようにできるか，考えらえる。 c：よりよい生活の実現を意識して，情報機器を使うことができる。 d：メディアリテラシーについて理解する。情報モラルが重要であることを理解する	
2	情報通信ネットワークとコミュニケーション	①情報の伝達手段を知り，ネットワーク上のコミュニケーションサービスについて知る。 ②ネットワークにおける約束ごとの存在を知る。 ・Web を中心に，コンピュータネットワークの基本的なしくみを知る。 ・情報をやりとりするために，さまざまな約束ごとがあることを知る。 ・効率的な情報伝達のために，さまざまな工夫がされていることを知る。 ・電子メールと Web のしくみを知る。 ③さまざまなコミュニケーション手段の特徴と，その可能性を知る。	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a：情報の伝達手段やネットワーク上のコミュニケーションサービスについて，関心をもって学習する。コンピュータネットワークのしくみを理解しようとする。 b：コミュニケーション手段の発達や，あたらしいサービスの登場が生活にもたらした影響について，考える。情報の安全な伝送をおこなう必要性について，考える。 c：生活の中で，目的に応じた伝達手段やコミュニケーションサービスを使えるよう　になる。 d：情報伝達手段やコミュニケーションサービスの発達によって，伝達できる情報の量が大きくなったことやあらたな問題点が生じていることを理解する。	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート ・定期考査
3	情報社会のしくみと安全性	①日常生活は，さまざまな情報システムにささえられていることを知る。 ・複数の情報システムが連携し，さまざまな情報を管理していることを知る。 ・プライバシーの問題が存在することを知る。 ②著作権やプライバシーなど，個人の権利はどのようになっているかを理解する。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a：身の回りの情報システムについて，関心をもって学習する。個人の権利や知的財産権など，情報社会における権利に関心をもつ。 b：連携している複数の情報システムの間で，どのような情報が共有されているかを考える。他人の権利への配慮が必要なことを理解している。 c：日常生活のなかで，情報システムを使えている。知的財財産権を侵害する行為をおこな	・発表態度 ・発問評価 ・実技テスト ・学習ノート ・定期考査

		③情報セキュリティの必要性とその対策について学習する。 ・情報の安全性を守るために，認証やアクセス制御などの方法があることを知る。 ・情報の安全性への脅威には，どのようなものがあるかを知る。 ・情報の安全性を維持するには，規則とその遵守とが必要なことを理解する。	○	○	○	○	わずに，著作物の利用ができる。 d: 身のまわりで運用されている情報システムがわかる。著作権の内容と，著作物の利用についての事例を知っている。	
		④ネットワーク上のコミュニケーションにおけるトラブルに巻きこまれたときに，どうするべきかを考える体験をする。	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。